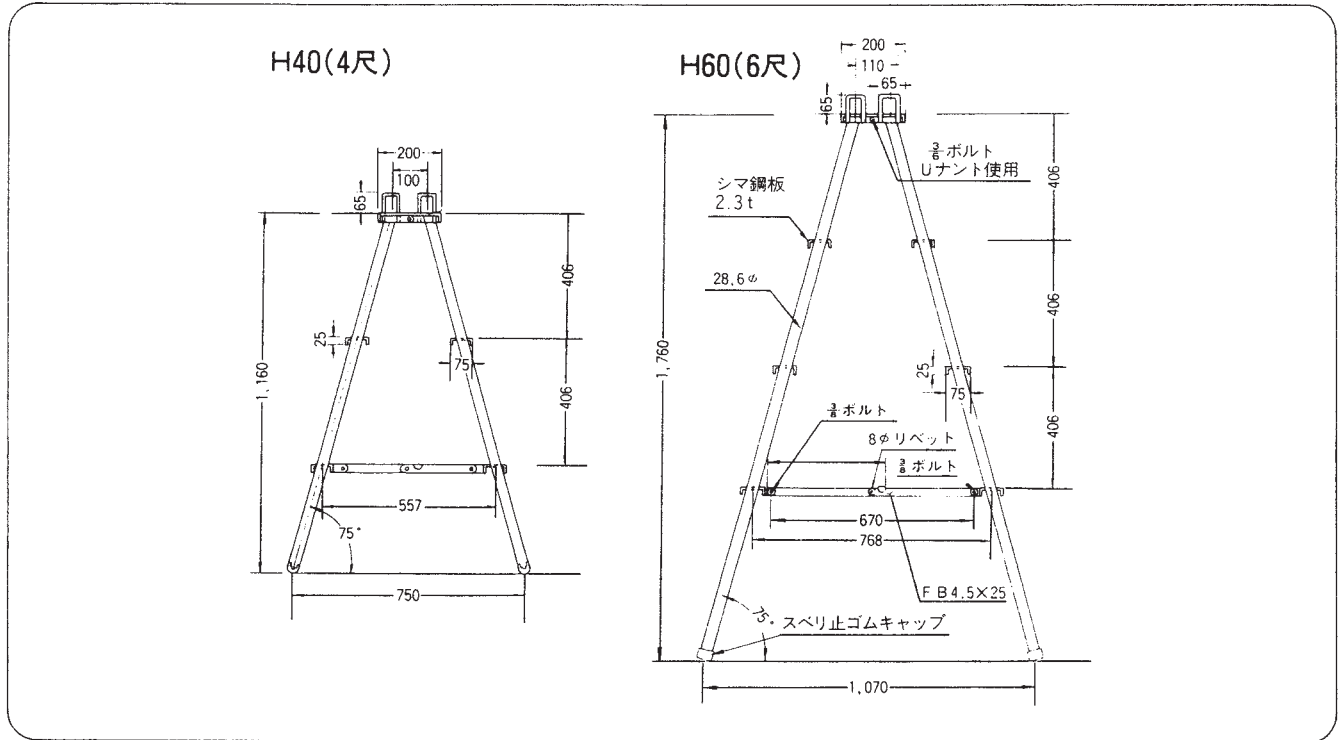


鋼製脚立

脚立全段踏板

品番	高さ	重量
DK-4	1200mm	15.0kg
DK-6	1800mm	19.0kg

構造



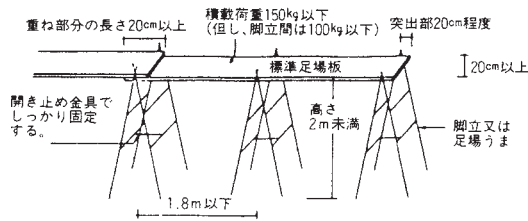
注意事項

●脚立足場として使用する場合の留意事項

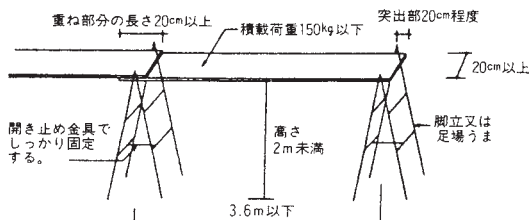
1. 足場板を保持している脚立同士の間隔は1.8m以下とする。
2. 長さ4m以上の足場板等を、3以上の脚立の踏板にかけ渡す場合を除き、足場板を踏板に固定する。
3. 足場板の、踏板からのはね出し長さは、10cm～20cmとする。
4. 踏板の上で足場板を長手方向に重ねる時は、重ねた部分の長さを20cm以上とする。
5. 積載荷重は、1スパン当り150kg以下とし、これを集中してかけないこと。

●うま足場(高さ2m未満)

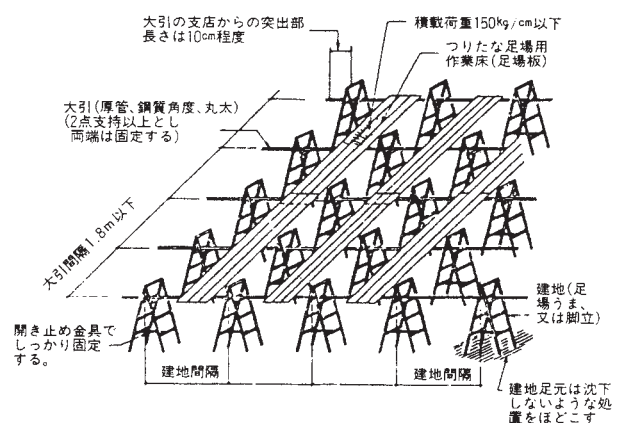
1. 標準足場板1枚を3点支持とした場合



2. 特殊足場板1枚を2点支持とした場合



3. 建地に脚立又は足場うまを使用する場合 (高さ2m未満)



建地間隔は大引材の種類により下表の通りとする。

大引材の種類	足場うまの間隔
単管	1.8m以下
鋼製角管・丸太	2.5m以下

(注) 高さが2m以上の場合、手すり又は安全帯等の取付設備を設け、かつ、作業床を足場作業床にする。

突出部での作業は禁止とする。

但し、高さが2m以上の場合、安全帯等取付設備を設け、かつ、作業床は足場用作業床とする。

●使用上の注意

1. 壁仕上げ用足場には、壁ぞいに1.5m以下に配置する。
2. 脚立に足場板をかけ渡し、作業床として使用する場合は、幅を40cm以上とする。
3. 鉄筋足場、型わく足場などに使用中、危険な状態で作業するときは控えなどを取り、転倒を防ぐよう措置する。
4. 設置する場所が凹凸のため脚立の下端が不安定の場合、脚柱の下端に当て板をする。